



大正十四年九月六日申添

前モ今時ニ三浦開港ニ駆逐尙少用事無事告成取扱工具  
輸送船不虞之不運送輸送船未輸送告成取扱工具

此處で輸送至レバモ無事輸送本日ヨリ平常、駆リ輸送延々輸送當  
迄モシテ輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送

輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送延々輸送

大正十三年八月三日

田町工場職工要求ニ關スル經過摘要

本年二月一日當社ハ作業繁忙ノ故ヲ以テ工場傭員ニ對シ六月末迄特別手當トシテ日  
給ノ四割ヲ支給シタリ其後給與方改正ヲ行ヒ臨時手當ノ六割ヲ本給ニ組入レタル際特  
別手當ノ支給率ハ其儘舊日給ノ四割トシ六月ニ入テ更ニ二ヶ月間繼續スル旨ヲ發表ス  
ルト共ニ本手當ハ作業繁忙ノ期間之ヲ立給スルノ主旨ニシテ從テ將來常收ト看做スヘ  
カラサルコトヲ説示シタリ

然ルニ一方當社ノ作業ハ大体ニ於テ最繁忙期ヲ経過シタルニ付八月ニ入リ特別手當支  
給期間ヲ終了ト共ニ將來ニ於ケル作業ノ狀況ト受給者收入ノ安定トヲ考慮シ且從來本  
手當ノ支給ヲ受ケサリシ工場以外ノ多數傭員ニモ廣ク之ヲ均霑セシムルノ目的ヲ以テ  
其支給方ヲ改正シ傭員全般ニ對シ新日給ノ二割ヲ永續支給スルコトシタルニ職工側  
ニ於テハ舊日給ノ四割ハ新日給ニ換算スルニ二割五分ニ相當シ結局目前五分ノ減給ト  
ナルコトヲ一理由トシ更ニ目下職業中ノ日本電氣株式會社ノ爭議ニ關聯シ當社カ同社  
ヨリ註文ノ依頼ヲ受ケテ其作業ヲ援助ストノ説アルヘ同一労働組合ニ屬スル當社職工  
トシテ歎止スル能ハサルニ付之ニ關スル仕事ハ一切爲サルコトノ要望ヲ具シ二十八